

令和6年度 英語コミュニケーションⅠ シラバス

科目	英語コミュニケーションⅠ	単位数	2 単位
対象	部・年次	1・2・3 部	1 年次

- 目標**
- ・ 基礎的な知識を定着させ、4 技能を活用したコミュニケーション能力を養う。
 - ・ 身近な話題や問題にふれ、外国の文化に興味・関心を持ち、自ら学ぶ姿勢を育成する。

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	外国語の基礎的な知識の理解を深め、その知識を聞くこと・読むこと・話すこと・書くことによるコミュニケーションにおいて、目的や場面に応じて活用できる。	場面や状況に応じて、身近な話題について外国語で要点や意図を理解し、それらを活用して自らの意見を外国語で表現したり伝えたりすることができる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に外国語を学ぶ姿勢を身につけるとともに、積極的にコミュニケーションを取ろうとしている。
北高力	①基礎力 ②情報処理力 ③試行力	④問題解決力 ⑤発見力 ⑥創造力	⑦人間関係形成力 ⑧実践力 ⑨自律的活動力
評価方法	定期考査 北高検定	定期考査 パフォーマンステスト	小テスト 自己評価シート 提出物

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	Lesson 1 Colors of Spring be動詞・一般動詞の現在形 Lesson 2 Dick Bruna be動詞・一般動詞の過去形 Lesson 3 Interesting Sports 現在進行形・過去進行形	・ 新出単語や語句の確認。 ・ 本文の解説。 ・ 文法の確認・演習。 ・ 学習した内容を使ったパフォーマンステスト。 ・ ALTとの会話形式の授業。	・ VISTA English Communication I ・ 自作プリント ・ ユメタン単語帳 ・ ICTを活用した教材
後期	Lesson 4 Pictograms 助動詞・動名詞 Lesson 5 We Are Part of Nature 不定詞		

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

教科書で新出単語や文法、本文の内容を理解したうえで、学習した内容を活用して自分の意見や考えを外国語で表現し、伝え合うことが求められます。また、外国語を使って積極的にコミュニケーションをとろうとする姿勢が大切です。基礎的な英語の知識の定着を図り、話す・聞く・読む・書くの技能を向上させていきましょう。

令和6年度 ベーシックイングリッシュ シラバス

科目	ベーシック・イングリッシュ	単位数	1 単位
対象	部・年次	1・2部	1～4年次

目標 基本的な英文法を理解し、状況や目的から判断して身の周りのことや自分の意見を表現できるようになることで、グローバル社会で生きるために必要な英語力の素地を養う。

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	基本的な文法の語順や構成を理解し、使い分けができる。また、基礎的な単語や各文法単元で必要となる動詞の活用を理解している。	場面や状況に応じて、自分の意見や考えを英語で分かりやすく伝えたり、身の周りのことを適切に表現したりすることができる。	グローバル社会に必要な素養を身に付けるため、計画的に学習できる。また、自分の学習方法を見直し、改善することができる。
北高力	①基礎力 ②情報処理力 ③試行力	④問題解決力 ⑤発見力 ⑥創造力	⑦人間関係形成力 ⑧実践力 ⑨自律的活動力
評価方法	定期考査	定期考査 パフォーマンステスト	自己評価シート 提出物 小テスト

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	現在形 過去形 未来を表す表現 進行形 長文問題 パフォーマンステスト 小テスト	・自作プリントで学習する。 ・パフォーマンステストを行う。 ・小テストで単語力をつける。 ・単元ごとに自己評価を行う。	自作プリント ユメタン
後期	現在完了形 受動態 比較 分詞 不定詞 長文問題 パフォーマンステスト 小テスト		

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

- ・基本的な文法の構造や訳し方を理解し、場面や時制に合わせて使い分けをできるようにしておく。
- ・各文法単元で必要となる、動詞の語形変化を理解し活用できるようにしておく。
- ・学習した文法を用いて、自分の意見や身の回りのことを表現できるようにしておく。

令和6年度 英語コミュニケーションⅡ シラバス

科目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	3 単位
対象	部・年次	1・2 部	3 年次

目標 4 技能をバランスよく取り入れ、英語を学ぼうとする態度を育成し、基礎的な学力を養う
身近な問題を取り上げ、知識を養うとともに外国に対して興味・関心を持つ

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	日常的な話題や、社会的な話題について、聞くこと・話すこと（発表・やり取り）・読むこと・書くことの4 技能5 領域を活用して理解することができる。	提示された課題等に対して、情報を整理しながら自分の考えを英語で表現し、相手に伝えることができる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に外国語を使用、また学ぶ姿勢を身につけ、積極的にコミュニケーションを取ろうとしている。
北高力	①基礎力 ②情報処理力 ③試行力	④問題解決力 ⑤発見力 ⑥創造力	⑦人間関係形成力 ⑧実践力 ⑨自律的活動力
評価方法	定期考査 北高検定	定期考査 パフォーマンステスト	小テスト 提出物 自己評価

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	Lesson 1 World Dance Performances want 人 to～の表現 how to do～の表現 Lesson 2 A Piece of Cake 間接疑問文、ifで始まる節 パフォーマンステスト（発表、やり取り、書くこと）	新出単語、英文読解、文法、問題演習、リスニング、音読練習 英作文 パフォーマンステスト（年5回） 本文の小テスト 単元テストの実施 Kahoot! nearpodなどのクイズアプリ 自己評価シート	VISTA English Communication II Hyper Listening Introductory 4th Edition 自作プリント
後期	Lesson 3 Quokka 使役動詞、知覚動詞 Lesson 4 Designing Stamps 形式主語it、形式目的語it Lesson 5 Mont-Saint Michel 過去完了形、過去完了進行形 パフォーマンステスト（発表、やり取り、書くこと）		

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

1・2 年次での英語の授業同様、英文理解を通して演習も交え学習します。また、英単語や文法の知識をさらに伸ばし、異なる文化や価値観についても学び、知識や教養を高めていくことを目標にしています。英作文や発表活動など発信型の活動も行うので、積極的に学び、コミュニケーションを取ろうとする前向きな姿勢を高く評価します。

令和5年度 初級英会話 シラバス

科目	初級英会話	単位数	1 単位
対象	部・年次	1・2部全年次	／後期入学生

目標 日常生活の様々な場面で使用する基礎的な語彙や会話表現を身に付ける。
学んだ知識や表現を活用し、主体的にコミュニケーションを取ることができる。

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	日常生活の様々な会話の場面に必要な語彙、表現などの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付ける。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合える。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。
北高力	①基礎力 ②情報処理力 ③試行力	④問題解決力 ⑤発見力 ⑥創造力	⑦人間関係形成力 ⑧実践力 ⑨自律的活動力
評価方法	定期考査	スピーキングテスト 定期考査	提出物 振り返りシート

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	初対面の人への挨拶 学校の生活 休日の過ごし方 天気についての会話 ファストフード店での会話 買い物での会話	設定場面の紹介 語彙・表現の確認 教員による実演 会話練習	自作プリント
後期	なりたい職業 病気の症状 旅行の計画 道聞きと道案内 電話での会話 ジェスチャーの仕方	ロールプレイ 振り返り	

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

授業での取り組み状況、定期考査、スピーキングテスト、提出物を通して、総合的に評価します。基礎的な語彙や表現を身に付けることも重要ですが、コミュニケーションの目的、場面、状況を理解し、学んだ知識を活用して、伝えることができるかを重視します。その為、普段の授業では、ロールプレイなど他者を意識したペアワークの場面を多く設定し、練習しますので、積極的にコミュニケーションを取ろうとする姿勢を大切に学習しましょう。

令和5年度 初級英会話 シラバス

科目	初級英会話	単位数	1 単位
対象	部・年次	1・2部全年次	／後期入学生

目標 日常生活の様々な場面で使用する基礎的な語彙や会話表現を身に付ける。
学んだ知識や表現を活用し、主体的にコミュニケーションを取ることができる。

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	日常生活の様々な会話の場面に必要な語彙、表現などの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付ける。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合える。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。
北高力	①基礎力 ②情報処理力 ③試行力	④問題解決力 ⑤発見力 ⑥創造力	⑦人間関係形成力 ⑧実践力 ⑨自律的活動力
評価方法	定期考査	スピーキングテスト 定期考査	提出物 振り返りシート

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	初対面の人への挨拶 学校の生活 休日の過ごし方 天気についての会話 ファストフード店での会話 買い物での会話	設定場面の紹介 語彙・表現の確認 教員による実演 会話練習	自作プリント
後期	なりたい職業 病気の症状 旅行の計画 道聞きと道案内 電話での会話 ジェスチャーの仕方	ロールプレイ 振り返り	

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

授業での取り組み状況、定期考査、スピーキングテスト、提出物を通して、総合的に評価します。基礎的な語彙や表現を身に付けることも重要ですが、コミュニケーションの目的、場面、状況を理解し、学んだ知識を活用して、伝えることができるかを重視します。その為、普段の授業では、ロールプレイなど他者を意識したペアワークの場面を多く設定し、練習しますので、積極的にコミュニケーションを取ろうとする姿勢を大切に学習しましょう。

令和6年度 初級英会話 シラバス

科目	初級英会話	単位数	1 単位
対象	部・年次	1・2部全年次	／後期入学生

目標 日常生活の様々な場面で使用する基礎的な語彙や会話表現を身に付ける。
学んだ知識や表現を活用し、主体的にコミュニケーションを取ることができる。

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	日常生活の様々な会話の場面に必要な語彙、表現などの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付ける。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合える。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。
北高力	①基礎力 ②情報処理力 ③試行力	④問題解決力 ⑤発見力 ⑥創造力	⑦人間関係形成力 ⑧実践力 ⑨自律的活動力
評価方法	定期考査	スピーキングテスト 定期考査	提出物 振り返りシート

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	初対面の人への挨拶 学校の生活 休日の過ごし方 天気についての会話 ファストフード店での会話 買い物での会話	設定場面の紹介 語彙・表現の確認 教員による実演 会話練習	自作プリント
後期	なりたい職業 病気の症状 旅行の計画 道聞きと道案内 電話での会話 ジェスチャーの仕方	ロールプレイ 振り返り	

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

授業での取り組み状況、定期考査、スピーキングテスト、提出物を通して、総合的に評価します。基礎的な語彙や表現を身に付けることも重要ですが、コミュニケーションの目的、場面、状況を理解し、学んだ知識を活用して、伝えることができるかを重視します。その為、普段の授業では、ロールプレイなど他者を意識したペアワークの場面を多く設定し、練習しますので、積極的にコミュニケーションを取ろうとする姿勢を大切に学習しましょう。

令和5年度 初級英会話 シラバス

科目	初級英会話	単位数	1 単位
対象	部・年次	1・2部全年次	／後期入学生

目標 日常生活の様々な場面で使用する基礎的な語彙や会話表現を身に付ける。
学んだ知識や表現を活用し、主体的にコミュニケーションを取ることができる。

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	日常生活の様々な会話の場面に必要な語彙、表現などの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付ける。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合える。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。
北高力	①基礎力 ②情報処理力 ③試行力	④問題解決力 ⑤発見力 ⑥創造力	⑦人間関係形成力 ⑧実践力 ⑨自律的活動力
評価方法	定期考査	スピーキングテスト 定期考査	提出物 振り返りシート

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	初対面の人への挨拶 学校の生活 休日の過ごし方 天気についての会話 ファストフード店での会話 買い物での会話	設定場面の紹介 語彙・表現の確認 教員による実演 会話練習	自作プリント
後期	なりたい職業 病気の症状 旅行の計画 道聞きと道案内 電話での会話 ジェスチャーの仕方	ロールプレイ 振り返り	

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

授業での取り組み状況、定期考査、スピーキングテスト、提出物を通して、総合的に評価します。基礎的な語彙や表現を身に付けることも重要ですが、コミュニケーションの目的、場面、状況を理解し、学んだ知識を活用して、伝えることができるかを重視します。その為、普段の授業では、ロールプレイなど他者を意識したペアワークの場면을多く設定し、練習しますので、積極的にコミュニケーションを取ろうとする姿勢を大切に学習しましょう。